

No.	法人名	ユニット番号	ユニット名	概要	計画番号	根拠	認定
87	人間文化研究機構	1	挑戦性、融合性、総合性、国際性を備えた組織的共同研究の推進による大学等研究機関への貢献	学術的、社会的要請に応じて、現代的諸課題の解明と問題解決に資する研究を組織的に推進するために、機構本部に「総合人間文化研究推進センター」を設置する。同センターにおいて、機構内の諸機関の連携はもとより、法人の枠を越えて国内外の多様な大学等研究機関と連携し、学際的かつ国際的な共同研究の企画調整、進捗管理、評価改善を行う。また、人文機構研究員を雇用し、研究プロジェクトの中心を担う機関に派遣し、高度な専門性に加えて実践的な研究者を育成する。	①	A	認定
					②	A	
		2	研究資源の一元的かつ国際的な情報発信の推進及び新たなキャリアパスの構築による大学等研究機関への貢献	学術的要請に応じて人間文化研究に関する資料や成果等の研究情報の発信を推進し、かつ社会的要請に応じて人間文化研究に関する成果を広く公開するために、機構本部に「総合情報発信センター」を設置する。同センターにおいて、機構内の諸機関の研究情報はもとより、法人の枠を越えて国内外の多様な大学等研究機関と連携し、国際的な研究情報の発信を行う。また、人文機構研究員を雇用し、人文系の新たなキャリアパスとして人文系サイエンスコミュニケーターを養成する。	①	A	認定
					②	A	
88	自然科学研究機構	1	組織改革及び研究システム改革の戦略的推進による新たな国際的共同研究拠点の形成	新たな国際的共同研究拠点の創設を、第2期に開始した機構の組織改革及び研究システム改革の戦略的推進(研究基盤戦略会議による組織再編・資源配分の方針策定及び評価)と併せて、アストロバイオロジーセンターにおいて重点的に推進することにより、異分野融合による真の国際的共同研究拠点の形成を実現する。	①	C	認定
					②	C	
		2	自然科学共同利用・共同研究統括システム(NOUS)の構築による共同利用・共同研究の成果内容・水準及び大学の機能強化への貢献度の把握	各機関の共同利用・共同研究機能を充実させるとともに、公募型の共同利用・共同研究について、申請から審査、採択、成果報告・公表、分析に至るまでを統一的に管理する自然科学共同利用・共同研究統括システム(NINS Open Use System :NOUS)(仮称)を導入し、共同利用・共同研究の成果内容・水準を把握するとともに、大学の機能強化への貢献度を把握するための機構のIR機能体制を整備する。	①	A	認定
					②	A	
89	高エネルギー加速器研究機構	1	国際的な共同利用実験の推進による成果の創出と大学の人材育成への貢献並びに共同利用のはたす役割の情報発信	我が国の加速器科学の国際拠点として、国内外の大学等による共同利用実験等(Bファクトリー、放射光、J-PARCなど)を推進し、国際的に最高水準の研究成果を上げることで、人類の知的資産の拡大に貢献していくほか、共同利用実験を通して大学における人材育成に積極的に貢献する。更に共同利用実験で得られた成果を把握、公表するとともに、大学等への貢献度などその役割を情報発信する。	①	A	認定
					②	A	
					③	C	
		2	KEKが持つ基盤技術を活かし大学等に対する専門的な技術支援と交流、並びに交流を通じた更なる技術の進展とイノベーションの創出	高エネルギー加速器の建設や運転及びそこで実施された実験等を通じて機構が開発・蓄積した基盤技術を、法人の枠を超えて大学や研究機関が推進するプロジェクト等に対して技術支援を積極的に実施し大学等に対し貢献していくとともに、技術交流を通じて更なる技術の進展とイノベーション創出につなげていく。 現在、第二期中期目標期間より継続している取組みには、大型低温重力波望遠鏡計画KAGRAの建設(東京大学宇宙線研究所他)、次世代がん治療装置BNCTの開発(筑波大学他)、検出器技術の応用によるセンサー等の開発(数多くの大学等)及びつくばイノベーションアリーナTIA-nanoを通じた各種開発研究(産業技術総合研究所、物質・材料研究機構、筑波大学他)がある。	①	A	認定
					②	A	
					③	A	
					④	A	
					⑤	A	
90	情報・システム研究機構	1	データ共有支援、データ解析支援、データサイエンティスト育成の三位一体の活動による大学におけるデータ駆動型研究の促進	生命科学、地球環境、人間・社会分野の各領域の大規模データ共有支援と高度な分野横断型データ解析支援及びデータサイエンティスト育成を行う。これによって、大学等におけるビッグデータを活用した研究を活性化させ、我が国におけるデータ駆動型の研究と異分野融合を促進し、大学の研究力強化に貢献する。	①	A	認定
					②	A	
					③	A	
					④	A	
					⑤	A	
					⑥	A	
		2	従来指標では捉えられない共同利用・共同研究の成果や異分野融合の進展状況を可視化する方法の開発及び活用	従来の論文評価だけでは把握できない、共同利用・共同研究事業を通じた大学等支援の結果や異分野融合への貢献を可視化する方法を開発し情報発信するとともに、共同利用・共同研究の推進体制の改善に活用する。	①	A	認定
②	A						